

指定統計
第 1 号

国勢調査調査票

昭和35年10月1日

世帯番号 世帯主氏名

総理府統計局

国勢調査について

この10月1日には、全国いっせいに、国勢調査が行なわれます。

国勢調査は、わが国の人口の状況をしらべて 政治や行政の基礎資料とするために、大正9年以来5年ごとにくりかえされてきた、国のもっとも基本的な統計調査であります。

ご多用のこととは存じますが、この調査票によって、もれなく 正しく お答えくださるよう お願いします。

なお、この調査票に書かれたことからは、統計をつくるためだけに使われるもので、徴税などに直接利用することは 法律でもかたく禁じられていますから、ありのままを お聞かせくださるよう 重ねて お願いします。

記入する前にお読みください

1

月	日	頃
---	---	---

 調査員がこの調査票を集めにうかがいますから、それまでに記入面の 世帯主が記入する欄 と第3面のおぼえ書き欄 に記入しておいてください。記入面の「調査員が記入する欄」は、調査員が皆様におたずねして記入することになっていますから、世帯主の方は記入しないでください。

2 この調査票は、世帯ごとに作ることにしています。つぎのような人については とくに注意してください。

下宿人

- ☐ 下宿している人は、各人ごとにそれぞれ調査票を作ります。
- ☐ 家族といっしょに下宿または同居していれば、その家族ごとに一つの世帯として 別に調査票を作ります。
- ☐ 会社・学校などの寄宿舎・独身寮などでは 寄宿人・寮生などをまとめて調査票を作ります。

住込みの雇い人

- ☐ 住込みの家事使用人は、雇い主の世帯の世帯員として、雇い主の世帯の調査票に記入します。
- ☐ 住込みの営業使用人は、5人以下の場合は雇い主の世帯に含め、6人以上の場合は営業使用人だけをまとめて一つの世帯とし 別に調査票を作ります。

3 調査票には、あなたの世帯に ふだん住んでいる世帯員 をもれなく記入してください。ここで ふだん住んでいる世帯員というのは、あなたの世帯にすでに3か月以上住んでいるか、または3か月以上にわたって住むことになっている人です。

つぎの人たちは、それぞれ つぎに述べる場所で申告することになっていますから注意してください。

旅行や出かせぎなどで一時不在の人 は、不在期間が3か月以上にわたらないときは自宅で申告します。

寄宿舎・下宿などから通学している学生・生徒 は、自宅で申告しないで、寄宿舎・下宿などで申告します。

病院・療養所などの入院患者のうち、すでに3か月以上入院している人は入院先で申告し、入院してから3か月にならない人は自宅で申告します。

船舶に乗り組んでいる人は、自宅で申告します。

自衛隊の営舎内または艦船内の居住者は、自宅で申告しないで、すべて営舎または艦船で申告します。

刑務所・拘留所の収容者のうちで、刑の確定している人と、少年院・婦人補導院の収容者は、全部そこで申告します。

3か月以上にわたって住んでいたところ または住もうと思っているところがない人は、現在いる場所で申告します。

記入例

記入面の「世帯主が記入する欄」には下の例を参考にして書いてください。

記入例1

世帯主が記入する欄									
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地	7教育	8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
野沢三郎	世帯主	男	(大正) 9年10月7日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
野沢すみ	妻	女	(大正) 14年7月30日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	16年	3人
野沢良作	長男	男	(昭和) 21年9月2日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
野沢雪枝	長女	女	(昭和) 26年4月3日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
野沢節子	二女	女	(昭和) 30年8月7日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
野沢くめ	母	女	(明治) 29年6月10日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	29年	4人
山本 豊	妻の弟	男	(昭和) 15年12月4日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人

記入例2

世帯主が記入する欄									
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地	7教育	8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
河田一男	世帯主	男	(明治) 33年3月16日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
河田大助	長男	男	(昭和) 2年5月15日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
河田さゆり	長男の妻	女	(昭和) 6年7月6日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	2年	1人
名づけず	長男の長女	女	(昭和) 35年9月29日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
市村茂子	家事使用人	女	(大正) 3年11月13日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	18年	2人
松本 博	営業使用人	男	(昭和) 8年9月28日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人

記入例3

世帯主が記入する欄									
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地	7教育	8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
細井好子	世帯主	女	(明治) 42年12月24日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	21年	5人
細井みどり	長女	女	(昭和) 7年8月3日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
細井洋一	長男	男	(昭和) 9年5月10日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
細井正子	三女	女	(昭和) 12年8月7日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
細井良夫	二男	男	(昭和) 16年11月8日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	年	人
中村富子	兄の女	女	(昭和) 5年2月2日	日	東京都 豊島区 荒川	小学校 新小 旧小 新中 旧中 新大 旧大	有 死 別	0年	0人

おぼえ書き欄

勤め人の方については 調査のときその人が不在でもわかるように下の各欄に記入しておいてください

事業の種類は					仕事の種類は				
注 ○製造業の場合は 製品名がわかるように記入し 二種以上の製品を作っている場合は そのうちおもなものを一つだけ書いてください					○何々係などとせず 事務に従事しているか 製造販売などに従事しているかの別と仕事の内容がわかるように書いてください				
意 ○販売業の場合は おもな商品名と卸売か小売かの別をかならず書いてください					○たとえば 会計事務・人事事務・板金工・操業工・船舶設計技師などまたは具体的に「ビールを箱につめる仕事」など				
勤め人の方の氏名	勤め先の名称と事業の種類	勤め先で本人がしている仕事の種類	従業地	9月24日から30日までの1週間の就業時間(30でかこひ)					
	名 称		都道府県 市町村	15 15 35 60 時間以上					
	事業の種類			15 15 35 60 時間以上					
	名 称		都道府県 市町村	15 15 35 60 時間以上					
	事業の種類			15 15 35 60 時間以上					
	名 称		都道府県 市町村	15 15 35 60 時間以上					
	事業の種類			15 15 35 60 時間以上					
(記入例) 野沢三郎	株式会社 鈴木商会西成支店 紳士既製服卸売	トラックの運転	大阪 西成	15 15 35 60 時間以上					

7教育欄の学校の種類

記入面の「7教育」欄でいう学校は、おもにつきのような種類のものをいいます。

小 学	小学校 国民学校初等科 尋常小学校 盲学校・ろう学校・養護学校の小学部または初等部	新 高	新制の高等学校 保母養成所 準看護婦養成所
高 小	国民学校高等科 高等小学校 通信講習所普通科	短 期	短期大学
新 中	新制の中学校 盲学校・ろう学校・養護学校の中学部	都 道	都道府県立農業講習所 (新卒卒を入学資格とする) 看護婦養成所 保母養成所 (修業年限2年以上のもの)
青 学	青年学校普通科・本科 実業補習学校 陸海軍工員養成所 (高小卒を入学資格とするもの)	旧 制	旧制の高等学校 専門学校 大学予科 高等師範 師範学校本科(昭和21年からの卒業生)
旧 中	旧制の中学校 高等女学校 実業学校およびそれらの補修科・専攻科 師範学校(一部 二部) 鉄道教習所中等部・普通部(昭和24年までの卒業生) 通信講習所高等科 陸軍幼年学校 海軍甲種予科練 旧看護婦学校 専修・実検合格者	高 専	高等通信講習所本科 陸軍士官学校 海軍兵学校 水産講習所(昭和27年までの卒業生)
大 学		大 学	大学 大学院 航空大学校 防衛大学校 海上保安大学校本科 水産講習所(昭和29年からの卒業生)

- 注 1 高等学校・短期大学・大学については、定時制およびこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
- 2 中途退学した人は、最後に卒業した学校について記入します。
- 3 外国の正規の学校については、上の表に準じて記入してください。
- 4 洋裁学校・料理学校・会話学校などや職員の研修所・養成所・講習所・訓練所などの在学者または卒業生は、その前に卒業した学校について記入してください。

世帯主が記入する欄

注意

- 1 記入する人の範囲……第1面の説明をみてください
2 記入の仕方……第2面に記入例がありますからみてください
3欄・6欄(イ)・7欄および8欄は あてはまる文字をまるでかこんでください
3 「7教育」欄について…第3面の説明をみてください
- 4 その他の注意
イ 青か黒のインキで書いてください
ロ 同じことを書くときでも「間」「」などとせず くりかえして書いてください
ハ 書きまちがえたときは線をひいて消し その行の余白に書きなおしてください

8欄が有・死別・離別の女子について

男子と未婚の女子は斜線をひいてください

行	番	号	1 氏 名	2 世帯主 の続柄	3 男女 の別	4 出生の年月日	5 国籍	6 一年前の常住地	7 教 育	8 配偶の 関 係	9 結婚 年数	10 子供 の数
			あなたの世帯にふだん住んでいる人の氏名をつぎのような順序で書いてください 世帯主 養 未婚の子供 既婚の子供とその家族 両親や祖父母 兄弟姉妹 その他の親族 住込みの雇い人 その他 昭和35年9月30日までに生まれてまだ名のついていない乳児は「名づけず」と書いてください	世帯主との続柄 にあたるかのように書いてください 普通の世帯では 世帯主 妻二男 長男の妻 長男の民女 母 妻の弟 家事従用人 営業従用人 寄宿舍・独身寮などでは代表者寄居人寮生	男は..... 女は..... (男)(女) のようによるでかこんでください	戸籍の届けとは関係なく実際に生まれた年月日を書いてください 数字は1, 2, 3.....のように算用数字で書いてください かつこの中に 明治・大正・昭和などの年号を書いてください	日本の場合は.....と書いてください その他の場合は.....その国名を書いてください	(イ) 才未満の人については斜線をひいてください (イ) 欄が 他所 の人は1年前の常住地を書いてください 1年前の常住地が六大都市の場合は区名まで書いてください 当市区町村内の他所に住んでいた場合は 当市・当区・当町・当村と書いてください	(イ) 小・中・高等学校・大学などの学校について書いてください(洋裁学校・予備校などは除く) (イ) 卒業した人は現在在学中の人は在学したことのない人は (ロ) 欄が 在学の人は在学卒業した人は最終卒業学校を書きなさい 新制旧制の大学大学院などは 短期大学旧制の高等学校専門学校などは 新制高等学校は 旧制の中学校高等学校などは 青年学校は 新制中学校は 旧制の高等学校国民学校高等科などは 小学校旧制の尋常小学校などは	届け出の有無に関係なく書いてください 妻または夫と死別して独身の人は妻または夫のある人(有配偶者)は結婚したことのない人(未婚者)は	結婚していった期間を書いてください 1年未満の端数は切り捨てます 結婚してまだ1年はない女子は0と書いてください 再婚の女子はいままででの結婚年数を通算して書いてください	いままでに生んだ子供の数を書いてください 出生後に死んだ子供の数も含めます 子供を生んだことのない人は0と書いてください 再婚の女子はいままでで生んだすべての子供の数を書いてください
1					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
2					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
3					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
4					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
5					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
6					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
7					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
8					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
9					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
10					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
11					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人
12					男 女	() 年 月 日		都道府県 市郡支庁 区町村 当所 他所	未就学 卒業 小学 高小 新中 青学 旧中 新高 短大 大学 在学 在学	未 有 死 別 離 別	年	人

世帯主 世帯員	(調査票が2枚以上にわたるときは 1枚目に世帯員の総数を書き 2枚 目からは斜線をひいてください)	男 女 人 人 └──────────┘ 計 人	(各欄の記入にまちがいのない ことを確かめたのち 氏名を書 いて記印を押してください)	世帯主(または世帯の代表者)氏名 _____ 印 _____
------------	---	--	---	--------------------------------

調査員が記入する欄

[illegible]

統計局が記入する欄(Z)							
15才以上 概就業者数	()	農林漁 従業者	業主 a n	雇用 b f	非農林漁 従業者	業主 c g	雇用 d h

調 査 票 通 し 番 号		調 査 員 認 印
(1) この世帯の調査票 枚のうち.....枚目	(2) この調査区の調査票 枚のうち.....枚目	

(記入面)